

虫遊戯

第三話

千葉哲太郎

その虫は人間で遊び、
快楽を貪る

試し読み版



今日は何が
食べたいの
小夜子

んーと
ハンバーグ!

フフ…
じゃあ小夜子も
手伝ってね

僕も手伝おう
かなー

パパはダメ
私がやるの!

ああ…

えー

お母さん
ごめんね…

早く行こ!

私…おかしく
なっちゃったよ…



仕方ないでしょー
やらない訳にも
いかないし

いやあ
小夜子が餌やり
手伝ってくれて
助かったよ



よかった
これで安心して
出張に行ける！

悪かったわね
泣かないでよ！



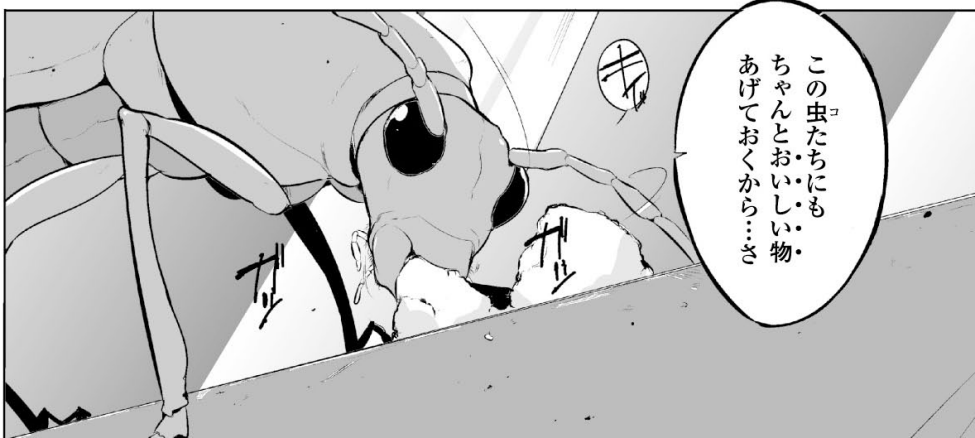
まあよく見ると
キモ可愛いしね

以前程の
嫌悪感はないわ



2・3日でしょ？
それ位なら見て
あげるから

向こうで
何かおいしい物
食べて来なよ



この虫たちにも
ちゃんとおいしい物
あげておくから…さ

あれ以来
虫達の認識が
変わった様だ

今日から
お父さん出張
だから：

フフ…
おいしい？

思う存分
愉しめるよ…

好きなだけ
食べて…
あはっ

私の身体を
餌として
見ていますよ

あはっ



あ…おち…ちん
出しちゃうんだ…

は…あつ

んう



おい…て
気持ちのいい
餌として…



そんな
夢中でコスリ
つけて…



ほんと判ってるみたいに 集るわね...

それじゃあ こっちの味も 愉しみたいよね...

あはっ

カサカサ
カサ



あぁっ おまこ虫に しゃぶられて...!



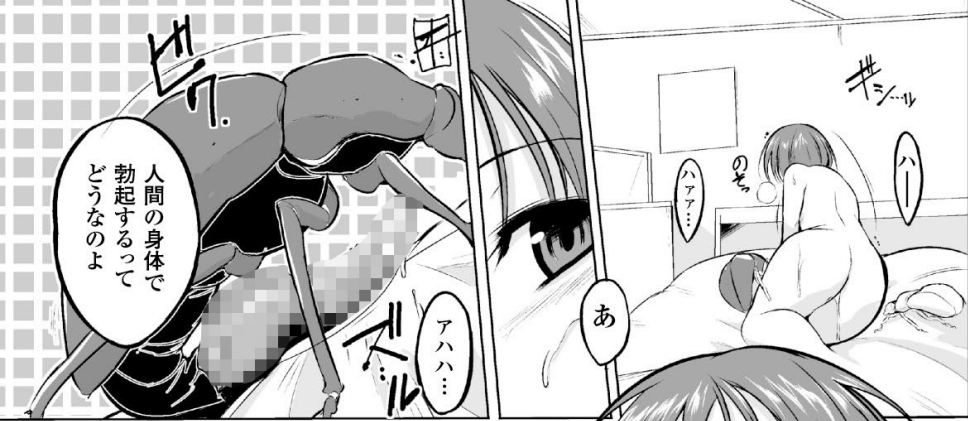
あうっ



そう...お肉 広げて...

おつゆが 出てくるから かき出して...





この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>